



しんきん大阪システムサービス株式会社

発行 〒530-0003 大阪市北区堂島2丁目4番27号 JRWD堂島タワー2階
TEL 06-6458-0666 FAX 06-6343-4699

謹 賀 新 年

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は当社事業の運営につきまして格別のご高配を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年は大阪・関西万博が開催され、当初は建設費の増加や海外パビリオンの遅れ、運営体制への懸念もありましたが、国内外から多くの来場者を迎え、盛況のうちに閉幕し、関西経済の活性化に貢献しました。

一方、日本経済全体では、米国による「トランプ関税」の再導入により輸出産業が打撃を受け、食料品やエネルギー価格の高止まりが続く中、賃金の上昇が物価に追いつかず、個人消費が伸び悩むなど、中小企業にとって厳しい局面が続いた一年でもありました。

このような中、昨年の当社の主な取り組みとしましては、従来、しんきん共同センターが行っていたDM作成業務を同センターからの依頼に基づき当社へ移管し、4月より「DM作成サービス」として提供を開始するとともに印刷会社からの局出し方式を追加するなど、サービス品質の向上にも努め、しんきん電子交付サービスにおいては、作成通数の多い「当座勘定照合表」および「残高・利息証明書」の電子交付を開始し、6月には信用金庫からのご要望により「出資配当金支払通知書」の電子交付に対応したほか、7月には「でんさいヘルプデスクサービス」の提供を開始し、11金庫にご利用申込をいただきました。

更に12月にはATM監視サービスでコーナーとの通話に利用しているIPオートホンシステムの更改を実施し、社内インフラの整備としては、各種社内システムを収容している仮想サーバの更改を行いました。

ほかには個人情報保護への取り組みとして、プライバシーマーク認証の更新時期を迎えたことから、9月に書類審査、10月に現地審査を受検し、更新作業を進めました。

また、地区別サービス業務懇談会や各種ユーザー会・説明会を開催し、株主信用金庫との情報交換の機会を多く設けることで、ニーズの把握に努めてまいりました。

本年につきましては、1月から3月にかけて予定されている「ICキャッシュカード発行システム」、「オペレーショナルリスク管理システム」、「イメージデータ管理システム」の更改に万全の態勢で臨み、加えて10月に予定されているしんきん共同センターの基幹系システム更改につきましては、当社のサービス業務とも深く関係することから、リハーサルおよび本番の移行対応に遺漏なく取り組んでまいります。

新たなサービスとしましては、今や業務の効率化に欠かせないツールとなった生成AIについて、社内利用を進めながら、ノウハウを蓄え、重要データを外部に持ち出すことなく利用できるプライベート型AIシステムを信用金庫向けのサービスとして、提供できるよう検討を進めてまいります。

最後になりますが、本年が信用金庫ならびに役職員の皆様にとって、実り多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

しんきん大阪システムサービス株式会社

代表取締役会長 翁 長 自 夫
(永和信用金庫 会長)

代表取締役社長 別 部 元 昭

取引目的確認支援サービスに関するお知らせ

—— ハイリスク先向けシステム対応について ——

現在、本サービスでは、お客様に対して「職業」や「取引目的」などの基本的な情報のみを質問し、ご回答いただく運用となっておりますが、金融庁のガイドラインおよび全信協の顧客管理方針では、ハイリスク先に対しては「資産・収入等の状況確認」が求められており、現行の質問項目だけでは十分な対応ができない状況となっております。

このような背景を踏まえ、本サービスで作成するDMおよびWEB回答システムの質問項目を顧客リスク評価に応じて切り替えられるように機能追加を実施いたします。

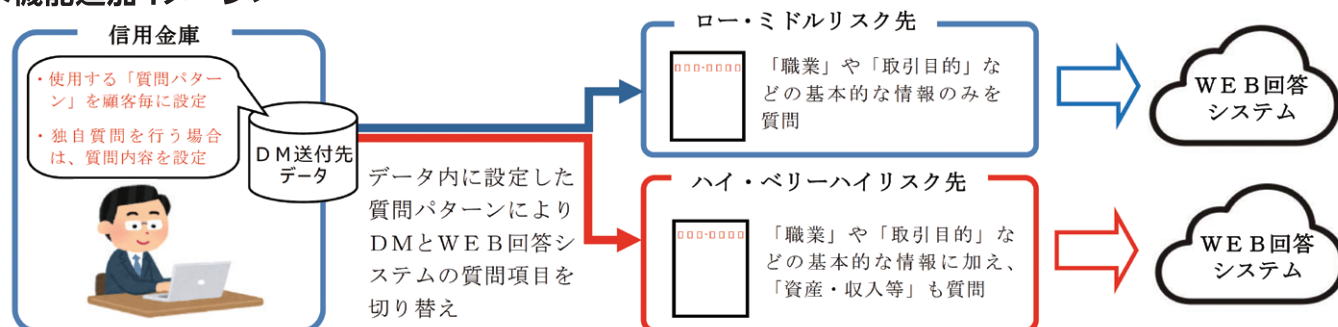
<機能追加の内容>

- ・質問パターンを2種類準備（ロー・ミドルリスク先用とハイ・ベリーハイリスク先用）
- ・顧客リスク評価に応じて質問パターンの選択が可能
- ・定型の質問に加え、顧客毎に金庫独自の質問が設定可能

<機能追加予定時期>

- ・個人向け：2026年5月
- ・法人向け：2026年10月

<機能追加イメージ>



—— アウトバウンドサービスの提供について ——

信用金庫では、継続的顧客管理の一環として、お客様にDM等を送付し、顧客情報の取得・更新に取り組まれておりますが、顧客から回答が得られないケースも多く見受けられます。

この点につきましては、金融庁のレポートにおいても「各金融機関における回収促進の取組みが課題である」と指摘されており、本サービスは、こうした回答促進の課題をアウトバウンド（電話連絡）によって解決することを目的としています。

<サービス概要>

①OSSよりアウトバウンド募集の案内（年2回）



②信用金庫に未回答先のリストを提出していただく



③電話オペレーターがリストのお客様へ架電し、来店による回答をお願いする



④本人確認できたお客様（個人のみ対象）は、電話で回答を受付する（オプション）



⑤お客様との会話内容や電話で受付した回答情報をF T F回答確認システムへ反映する

アウトバウンドセンター

- ・架電時間：平日11時～19時
土日・祝9時～17時
- ・架電回数：最低2回以上
- ・架電期間：3カ月
- ・発信電話番号：金庫毎にフリーコールを取得



【担当】業務推進部・業務課

OSSサービス業務ご利用の声

—— 当座勘定照合表と残高利息証明書の電子化(しんきん電子交付サービス) ——

滋賀中央信用金庫 事務統括部の皆さんのお話

■ご利用の目的とその経緯をお聞かせください。

昨年4月に、DM作成業務が共同センターからOSSに引き継がれ、当座勘定照合表と残高利息証明書の電子交付が可能となりました。

当金庫では、「郵送コストの削減」、「紛失リスクの低減」、「顧客への案内迅速化」を図るため、電子交付への切り替えを決定いたしました。そのほか、ペーパーレス化の推進によるSDGsへの貢献も導入理由の一つです。

■顧客への周知や対応内容等について教えてください。

当金庫では、当座勘定照合表と残高利息証明書は、原則、全て電子化することとしました。顧客への周知については、ホームページに掲載した後、電子交付の4ヵ月前に対象者へ案内はがきを送付し、OSSにて作成したID通知はがきは電子交付の直前に送付しました。

ただ、当金庫ではお客様から申告があった場合は、従来通り郵送での送付も可能にしたため、残高

利息証明書については、予想以上に郵送希望のお客様が多くいました。

電子交付と郵送で発行手数料を差別化しておけば、もう少し郵送を希望するお客様は少なかったのではと反省しております。

■ご感想をお聞かせください。

電子交付を開始したばかりで、まだ件数は少ない状況ですが、案内の迅速化や管理の効率化といった面で、顧客にとっても大きなメリットがあると感じています。

今後は、少しずつでも電子交付の利用者を増やし、当金庫の目的である郵送コストの削減を着実に進めていきたいと考えています。

導入当初は、ログイン方法やパスワードに関する問い合わせが多く寄せられましたが、現在では徐々に減少傾向にあり、顧客の理解も進んできていると感じています。

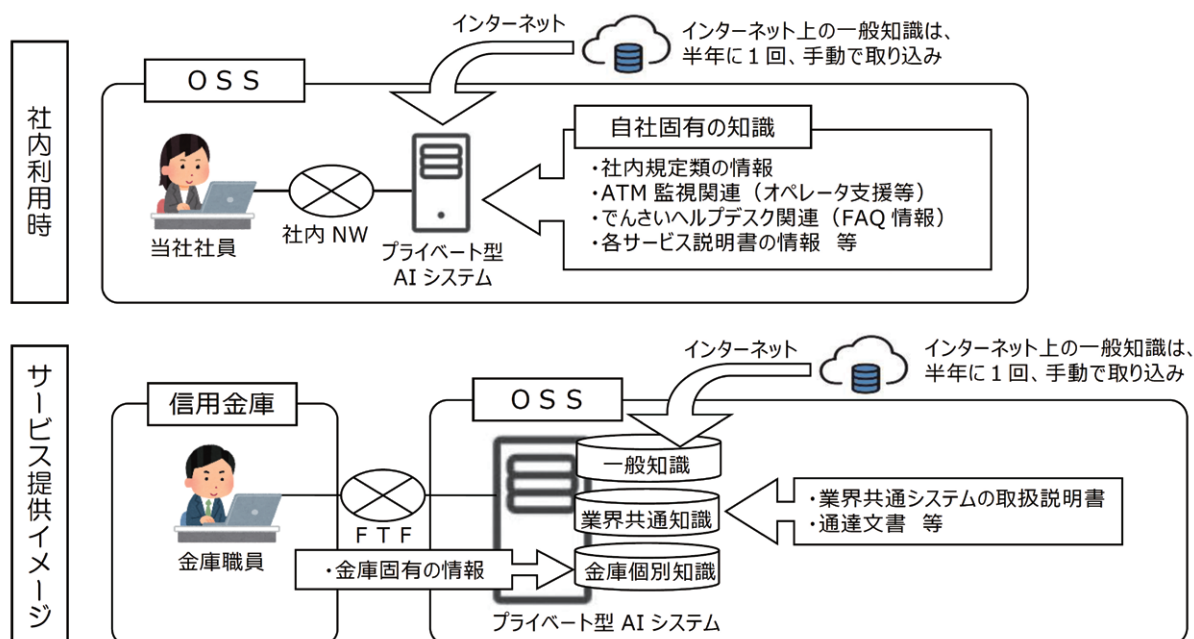
今後は、他のDMについても順次電子化が進むことを期待しています。

【担当】業務推進部・業務課

プライベート型AIシステムの社内導入とサービス化の検討について

近年、AI（人工知能）の進化・利用拡大は著しく、企業の業務効率化に欠かせないツールとなっています。

当社では、自社固有の業務データや機密情報を外部のクラウド上に持ち出すことなく利用できるAIシステムをまずは社内向けに導入し、その後、株主信用金庫向けにサービス化を検討してまいります。



【担当】業務推進部・営業推進課

ATMセカンドディスプレイ (デジタルサイネージ) のご紹介

ATMの上部に簡単に設置できるデジタルサイネージの提供を開始いたします。

通常時には、ATMの利用案内や商品広告など、自由にコンテンツを放映することが可能ですが、内蔵されたAIカメラが、お客様のスマートフォン等による通話を検知した場合、画面が自動的に緊急対応モードに切り替わり、音声とともに注意喚起を行います。これにより還付金詐欺などの被害を未然に防ぐことが期待されます。

詳細につきましては、後日通知文にてご案内いたしますので、今しばらくお待ちください。



【担当】業務推進部・営業推進課

相続業務支援システムの更改について

相続業務支援システムにつきましては、2026年度第4四半期に更改時期を迎えます。

システム更改では、現行の富士通(株)製から北陸コンピュータ・サービス(株)製への変更を予定しておりますが、ご利用金庫の運用面への影響を極力少なくし、より利便性が向上できるシステム提供を目指しております。

【次期システムの主な特長】

- ・WEB受付機能を追加(オプション)
- ・営業店と相続センターの双方での利用を考慮(BPOサービスの提供を見据えた設計)
- ・戸籍謄本の情報入力により連続性が確認でき、システムが相続人を判定

【担当】業務推進部・営業推進課

基幹系システム更改に伴うATM休止の対応について

しんきん共同センターの令和8年度基幹系システムの更改では、リハーサル時および移行本番時においてATMが休止となりますが、当社のATM監視センターでは、注意コードの受付、ATMの状態確認、お客様からの問合せ対応等を行います。

ATM等のサービス休止に関しては、お客様への事前周知をよろしくお願いいたします。

【ATMコーナーの休止日(西日本センター)】

リハーサル1	リハーサル2	移行本番
2026年2月15日(日)	2026年7月19日(日)	2026年10月10日(土)～12日(月・祝)

※詳細は、しんきん共同センターからのご案内をご確認ください。

【担当】ATM監視センター・自動機サービス課

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

2026年は「午(うま)年」です。午年は、活発さや前進する力を象徴し、挑戦を後押しする年とも言われています。また、馬にまつわる言葉には「無事これ名馬なり」や「人馬一体」があり、安定した力強さや調和を表しています。

本年は、ケガなく無事に走り続けられるよう健康に留意し、株主信用金庫との一体感をより一層高めながら、業務に邁進してまいります。

すべてが「うま」くい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

OSSLINEアカウント



友だち募集中!